

## 段ボール組合と ベッド提供協定

市、災害備え

横浜市は、大規模災害で被災者の避難所生活が長期にわたるリスクに備え、段ボール製の簡易ベッドや間仕切りを円滑に提供してもらえよう、段ボール製造業者でつくる「東日本段ボール工業組合」と協定を結んだ。期間は無期限。

市危機管理課は「体育館などの避難所は、床が冷たく硬い。衛生面も良いとは言えず、避難生活が長期化すると体調を崩す危険性が高まる」と説明する。東日



災害時に市が供給を受ける段  
ボールベッドの例（市提供）

本大震災の教訓から、仙台市が昨年八月に同組合と協定を締結したのに倣い、横浜市も同様の対応を取ることにした。

協定では災害発生後、組合に必要な分を納品するよう市が要請すると、一週間以内に各避難所に届く見込み。費用は市が負担する。

段ボールの簡易ベッドは長さ二辺、幅〇・九辺、高さ〇・三五辺で八トの重さに耐えられる。市危機管理課の担当者は「大規模災害で、できるだけ避難者の不安を解消したい」と話している。  
(志村彰太)